



文化庁

舞台芸術等総合支援事業
(学校巡回公演)

独立行政法人日本芸術文化振興会

ぶたいげいじゅつとう そうごう しえんじぎょう れい わ ねん ど がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
舞台芸術等総合支援事業～令和6年度学校巡回公演事業～

かん ぜきゅうこうかい のう がくこうえん のう すべ 観世九臘会 能樂公演『能の全てがわかります！』

しょうがっこう ちゅうがっこうとう ぶんかげいじゅつだんない じつえんげいじゅつ じゅんかいこうえん おこな こども しつ たか ぶんかげいじゅつ かんしよう たいけん
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験す
きかい かくは こども ゆた そうぞうりょく そうぞうりょく しごうりょく のうりょく やしな しょうらい
る機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の
げいじゅつか かんきやくそう いくせい すぐ ぶんかげいじゅつ そうぞう し もくべき こども
芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。ワークショップでは、子供たちに
じつえんしどう かんしゅうしどう おこな じつえん こども さんか くふう おこな
実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



体育馆フロアでの上演イメージ

能 「土蜘蛛」 のう つちぐも

蜘蛛の妖怪
かんせんちようあく
VS 源頼光の家来たちが繰り広げる、
かんなものらじょうじょう けらい
勧善懲惡ストーリー！

あらすじ

のう こうはんぶん じょうえん
※能の後半部分のみ上演

ときは平安。源頼光に仕える独武者は、頼光を襲った土蜘蛛を退治するため、供の武士を連れて土蜘蛛が棲む塚におもむく。塚を突き崩すと、中から現れた妖怪土蜘蛛は、次々に千筋の糸を繰り出し、激しく応戦するが、ついには独武者たちによって退治されてしまう。手品のように繰り出される蜘蛛の糸、能独特の殺陣など、はなやかな演出に注目です。



体育馆ステージ上での上演イメージ



体育馆フロアでの「柿山伏」上演イメージ

かき 柿どろぼうの山伏を畠主がこらしめる、 やまぶし はたぬし 痛快ものまねコメディ！ きょうげん 狂言「柿山伏」 かきやまぶし

あらすじ

はたぬし かき こずえ かく やまぶし
畠の柿を山伏に盗み食いされた畠主が、柿の梢に隠れた山伏をこらしめてやろうと、カラスやサルなどさまざま動物の鳴きまねをさせる。ついに「鳶だ！」といわれた山伏は、思わず木から飛んでみせるが、もちろん墜落！足をくじいて畠主に治療を頼むが…。畠主の声に翻弄される山伏の滑稽な姿、狂言ならではの動物の鳴きまねをお楽しみください。

公演のプログラム

①事前ワークショップ

<体験の部>

- ・「謡曲」の一節を謡う
- ・「すり足」で歩く
- ・「能面」を掛けて歩く
- ・「蜘蛛の糸」をまく

事前ワークショップでは『土蜘蛛』の「謡」(歌詞)の一節を全員で謡い、舞の基本となる「構え」や「すり足」を体験。さらに、代表の児童・生徒は能面をつけて舞台を歩き能楽師の視線を体験します。



②本公演

<第1部>

- ・狂言「柿山伏」の鑑賞
- ・能「土蜘蛛」の鑑賞

きゅうけい
〔休憩〕

<第2部>

- ・能楽囃子(楽器)の体験
- ・狂言の体験
- ・質疑応答

本公演当日、能『土蜘蛛』の終了後には、代表の児童・生徒が楽器を使い、残りの児童・生徒全員で合奏します。また、狂言は全員で所作やセリフ、おおらかな笑いの表現を体験します。



【実施団体】公益社団法人 観世九臯会

- ・明治時代より 100 年以上の歴史をもつ演能団体。
- ・重要無形文化財総合指定者 18 名が所属。
- ・学生向けの能楽鑑賞教室を 60 年以上主催する実績 があります。

詳しい内容を動画でご覧いただけます！

観世九臯会・巡回公演 「文化芸術による子ども育成推進
プログラムご紹介 事業舞台芸術等、総合支援事業
(過去の巡回公演事例) (学校巡回公演) ホームページ



観世九臯会
ホームページ



『能楽』とは…

約 650 年前から続く「お芝居」です

「能」は、シリアルな物語を演じる仮面劇です。主役の「シテ」、脇役の「ワキ」、狂言の登場人物と、楽器を演奏する「囃子」、合唱を担当する「地謡」が繰り広げる日本独自の歌舞劇です。また、「狂言」とは、人間の誰もが持っている心の機微を、おおらかな笑いで表現したセリフ劇で、昔も今も変わらない、愛すべき人間の姿を描き出しています。実演や体験を通して、能樂の持つ日本の伝統美や伝承の技と心を、間近でお楽しみください。

といあさき
<お問い合わせ先>
公益社団法人観世九臯会 (担当: 芝田)

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 60 番地

TEL: 03-3268-7311 / Mail: yarai@eos.ocn.ne.jp